

地産地消のエネルギーシステム



(推進: 徳島県三好市、宮崎県日向市、宮城県気仙沼市など)

1. 廃校となった設置された太陽光発電システムの利用
2. 使わなくなった水力発電所の利用。
3. 風力発電等の設備更新時の契約電力以外の有効利用
他

「21世紀に地球が直面する最も大きな課題は、持続可能な方法でエネルギーを生産し、消費しなければならない。その方法には、エネルギーキャリアとして注目されるマグネシウムであり、その製錬(製錬)、合金、構造材及び建材から電池への展開、自然エネルギーや余剰時のエネルギーを使ってリサイクルができれば更に有効活用ができるようになります。我々協議会は、マグネシウムに限らず、今後、エネルギーキャリアとなるものを循環システムとして位置付け、国内のみならず、世界中のどこでも公平なテーマとして扱いができるように、啓蒙活動を推進、構築、実現することで、地球環境の維持保全に貢献します。」

